

日本英語学会第27回大会  
ワークショッププログラム  
2009年11月14日(土) 9時30分から12時まで  
大阪大学 豊中キャンパス

(ワークショップ)

**第1室 「格の今とこれから: 近年の研究成果と理論的動向から格を見つめ直す」**

(共通教育講義棟 B 棟 B118 講義室)

責任者: 内芝慎也 (無所属)

司会者: 内芝慎也 (無所属)

発表者: 内芝慎也 (無所属)

“The Double-Accusative Constraint Revisited: What Does It Tell Us about How to License Abstract Case in Japanese?”

発表者: 田口茂樹 (信州大学/University of Connecticut)

“Case as a Driving Force for Movement”

発表者: 新沼史和 (高知学園短期大学)

“Case and the Distribution of *Pro* in Japanese”

(スチューデント・ワークショップ)

**第2室 「日英語相互行為における伝達スタイルの比較—発信と受信の両面から—」**

(共通教育講義棟 B 棟 B107 講義室)

責任者: 松本奈津子 (日本女子大学大学院)

司会者: 野村 佑子 (鎌倉女子大学・杏林大学・東海大学非常勤)

発表者: 川副 理美 (日本女子大学大学院)

「ストーリーの進行に関する描写・説明方法」

発表者: 平田真知子 (日本女子大学大学院)

「時間に関わる述語の表し方」

発表者: 工藤 貴恵 (日本女子大学大学院)

「エピソードの伝え方における話題の展開」

発表者: 町 沙恵子 (日本女子大学大学院)

「他者発話の繰返しのメカニズムに見られる日英語会話内の受信行動の違い」

発表者: 松本奈津子 (日本女子大学大学院)

「英語のリスニングを難しくさせる要因—Postlexical Level における音韻的特徴・音節構造の視点から—」

**第3室 「五感と時間: 英語知覚表現の諸相」**

(共通教育講義棟 B 棟 B108 講義室)

責任者: 吉川正人 (慶應義塾大学大学院)

司会者: 井上逸兵 (慶應義塾大学)

発表者: 吉川正人 (慶應義塾大学大学院)

「『知覚』という観点から見た時間表現分析の可能性」

発表者: 中村文紀 (慶應義塾大学大学院)

「知覚動詞とその補語の記述的研究: 属性認知と状態認知」

発表者: 伊澤宜仁 (慶應義塾大学大学院)

「時を生み出す五感: 共起分析から考える時間の創発性」

発表者: 飯島 怜 (慶應義塾大学大学院)

「共起語にみる知覚の差: 時間か空間か」

\* ハンドアウトは各企画責任者が発表会場に用意します。部数には限りがありますので予め御了承下さい。

\* 各ワークショップ会場の詳細につきましては、「大会資料・プログラム」をご覧ください。